

令和4年度 東陽小学校グランドデザイン



学校の教育目標

- 考える子ども（知）
- やさしい子ども（情）
- たくましい子ども（意・体）



めざす学校像

- 子ども一人一人を理解し、子どものよさや可能性を伸ばそうと努力する職員が集う学校
- 相手を思いやり、お互いのよさを認め合い、学び合う姿がみられる学校
- 研修を通し教師力を高め、課題解決に邁進する学校
- 自分や職場の健康管理に気遣うことのできる学校
- 挨拶・安全・整理整頓など、子どもの基本的な生活習慣を養う学校
- 当たり前なことを当たり前でできる学校
- チームで課題を共有し、解決に向け積極的に取り組む学校

めざす子ども像

- 基礎基本を確実に身につけ、自分で考えようとする子ども
- 命について話し合い、自分と周りの人を大切にする子ども
- 体力向上の意識をもち、自分を鍛える子ども

北海道教育推進計画

自立：自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む

共生：ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、ともに支え合う人を育む

美幌町教育推進計画

- ◎ 正しい判断と行動できる児童生徒の育成を図る学校教育を推進する
- ◎ 明るく豊かな社会づくりを進める社会教育を推進する
- ◎ 美幌町教育の発展と充実を期する教育行政を推進する

令和4年度の重点教育目標

安心・安全な学校づくりの推進

「安心・安全な学校づくり」には、いじめがなく授業が分かることで子どもが安心して通え、保護者が安心して通わせることができる学校でなければならない。また、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いながら、子どもの健やかな学びを保障していかなければならない。さらに、教職員が子どもたちに寄り添った指導を行うには、ゆとりが必要なことから、勤務の在り方について改革していかなければならない。

学校評価結果

- 令和3年度の学校評価（教職員の自己評価、保護者アンケート、児童アンケート）より、学校経営全般（働き方改革について）、考える子ども（学習環境の充実について・家庭との連携について）、やさしい子ども（あいさつの取組について）、家庭や地域との連携（家庭や地域との連携について）において、課題が見られた。

令和4年度の学校経営の重点（学校評価項目）

目標値 ⇒ 学校評価で80%が肯定

学校経営全般

【教育課程について】

- 教育課程が適切に運用され、編成・実施・評価及び改善が行われている
《前期》・《後期》

【働き方改革について】

- 「北海道アクションプラン」の目標を理解し、組織として・個人として学校における働き方改革を実践している
《前期》・《後期》

考える子ども

【学習環境の充実について】

- 1時間の学習内容が整理されたノートになるように指導している
《前期》《後期》

【授業改善に向けた取組について】

- 学ぶ意欲を持たせるための授業展開になるよう工夫している
《前期》《後期》

【ICTの活用について】

- ICTを効果的に活用し、学習形態や方法が工夫された授業を行っている
《前期》・《後期》

【家庭との連携について】

- 家庭での学習習慣の定着を図っている
《前期》・《後期》

家庭や地域との連携

【幼・保・中の連携について】

- 情報交流や家庭学習の取組の連携など、幼稚園・保育園・中学校と連携しながら取り組んでいる
《前期》・《後期》

【家庭や地域への発信について】

- 子どもの学習や生活の様子など、教育活動の様子を発信している
《前期》・《後期》

やさしい子ども

【あいさつの取組について】

- 率先してあいさつをする取組を行っている
《前期》・《後期》

【子どもの悩みや問題について】

- 子どもたちの悩みや問題について適切にかかわりながら取り組んでいる
《前期》・《後期》

たくましい子ども

【運動量のある体育や特別活動について】

- 運動量のある体育や特別活動を行うなど、体力向上の取組をしている
《前期》・《後期》

学校評価【年2回】

・自己評価、保護者アンケート、児童アンケート、学校関係者評価